

令和 1 年 10 月 29 日

文責:佐野 馨

協議:浜菜みやこ、小林泰久

1. はじめに

この度、小松社長が長年に亘る平和・環境・健康寿命の活動の功績により、中川先生はじめ、進藤先生他ご関係各位のご推薦により、国際アジア共同体学会主催の岡倉天心国際賞を受賞されることになり、小松社長に同行させていただきまして、この度の受賞式に臨席をさせていただき、また小松社長の受賞記念講演を拝聴させていただきましたこと光栄に存じます。

岡倉天心翁は、国家プロジェクト九頭竜川・日野川農業用水施設に当社のやくも水神を納品している福井県を代表する人物で、100 年前の江戸時代から明治時代における時代の変革期にアジアの平和と共生を説き、また、島根県とも縁の深い横山大観を世に出されたという。小松社長の長年のアジアはじめ世界の平和と共生のため国際的に活動をされて来られたことが評価され、この度の受賞を受けられたこと重ねて光栄に存じる次第です。10月26日、東京・専修大学にて受賞記念講演会がありましたので以下報告いたします。

2. 岡倉天心国際賞受賞記念講演会（「国際アジア共同体学会 2019 秋季大会」で受賞・ご講演）

・参加メンバー：(4名)

小松社長、経営企画 MG 浜菜みやこ、東京支社 小林泰久、研究所 佐野馨

・スケジュール概要

10月25日(金) 米子 → 羽田 ANA 1088 14:30-15:55 (小松社長、浜菜、佐野)

関東方面悪天候により、30分遅れで出発。羽田着 16:30 頃

東京支社に寄り、岡倉天心国際賞受賞記念の講演内容を最終仕上げ。

小松社長の指示により小林さん最終調整、最終案を中川先生に送信。

10月26日(土) 午前 10:00 – 11:30 専修大学 神田校舎(千代田区神田神保町三丁目 8)

(東京支社に早朝集合、配布資料、撮影機材などをとりまとめタクシーで会場へ)



開会前に、国際アジア共同体学会理事長 黒瀬直宏氏と懇談

快晴の一日でした



講演会概要 国際アジア共同体学会 2019 秋季大会

変貌するアジア戦略展望－新たな連結を ユーラシアに求めて－

10:15 (開場 10:00) 会場: 専修大学神田校舎・1 号館 204 教室

共催: 日本華人教授会議、アジア連合大学院機構、一帯一路日本研究センター

後援: 毎日新聞 (交渉中)、日本中国友好協会

午前の部

開会挨拶 黒瀬直宏 (学会理事長) NPO 法人 アジア中小企業協力機構理事長		国際アジア共同体学会の活動御礼 アジアの情勢、100 年前岡倉天心の活動 岡倉天心最優秀賞・国際賞の受賞紹介、 など、自由論題報告をよろしく
自由論題報告 1. 鈴木賢一 10:20～11:50 政党事務局 副部長 (国民民主党 広報局)	 講演資料別途 PDF 有り	「韓国との政治対話のあり方について」  日韓の政治対話について説明、以前は日本語を話せる韓国議員が多かった。共通言語で意志疎通を図る必要性を思う。
2. 魏向紅 10:50～11:10 (一財)アジア連合大学院機構 主任研究員 (通称 GAIA 機構) 日本の中国関連団体 理事長: 進藤榮一 顧問: 西原春夫 (早稲田大学元総長、他)	 講演資料別途 PDF 有り	「ファーウェイの Harmony OS (鸿蒙) は Android を超えられるかーファーウェイのスマートフォンビジネスの見通しー」 ファーウェイの従業員 18 万人 ファーウェイの 5G 展開などを説明。 時間切れとなり残念。良い説明だった。
3. 与那覇恵子 公立大学 名桜大学 非常勤講師 (沖縄名護市) 国際文化研究科 国際学群 国際文化教育研究 学系 教授	 講演資料別途 PDF 有り	「米軍初期占領下の沖縄 1945-1953 何故必修の小学校英語教育は終焉したのか？」 米軍占領下の沖縄の事情・背景・プロセスが分かる良い説明であった。 天皇メッセージ、教科書配布など必見。

名刺交換



魏向紅先生(名刺なし)



村石恵照先生(学会論文多数あり)



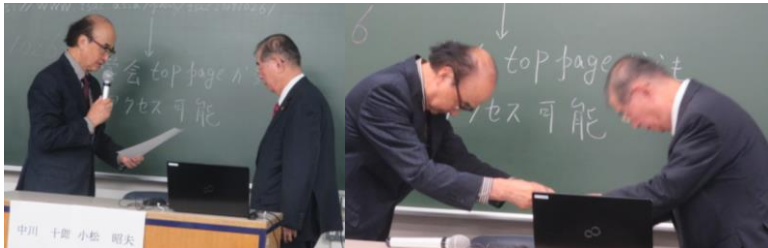
与那覇恵子先生



鈴木賢一先生

午後 の部

総会 13:00-13:10 理事会報告 黒瀬直宏		理事会報告 新入会員の募集 加入をよろしくお願いします。
13:10~13:50 岡倉天心 最優秀賞・表彰式 受賞記念講演 司会萩原伸二郎(横浜国大名誉教授) 近藤大介 「ファーウェイと米中 5G 戦争」 (講談社+α 新書) 著者	 	 別紙に詳細の 説明あり岡倉 天心から 5G 時 代のアジアへ 30 年前に東アジアを取材・研究するジャーナリストを目指して本書は 28 冊目になるとのこと。
13:50 第一部 「ユーラシア新経済秩序の構築」 司会:井川紀道(元世銀 MIGA 長官)		ユーラシア新経済秩序の構築 の講演主旨と講師先生をご紹介
1. 萩原伸次郎 (横浜国立大学名誉教授) 「米中対立と国際経済」 別紙に講演レジメあり		世界経済危機、1929 年大恐慌に匹敵する危機。 世界経済の崩壊でアメリカ経済の落ち込みは大きい。工業セクター重視からサービスセクター重視に。トランプ政権で世界経済は攪乱だがアメリカ企業の中国進出は続いている。
2. 池部亮 (専修大学商学部教授) 「ベトナム・中国の物流環境と サプライチェーン」 (中国の一带一路にベトナムは警戒)		25 年間ジェトロ勤務(ベトナムハノイ 19 年、中国広東省河南 6 年)の実績に基づき説明。現地状況が良く分かる講演 講演資料別途 PDF 有り

3. 渋谷祐（中国研究所 21 世紀シルクロード研究会代表） 「ユーラシアエネルギー連結協力の発展とリスク」	 (深圳・香港の話は良かった)	縦に北極海—深圳(頭)—香港(へそ)の関係を地政学的に説明。9 月 11 日に大連でフォーラム参加の時に香港デモ。一帯一路 6 周年、進展と反省が大事。講演資料別途 PDF 有り
15:25 第二部 「日中第 3 国協力の現実と展望」 司会：岩内秀徳 (富山大学経済学部教授)		「日中第 3 国協力の現実と展望」の講演主旨と講師先生の紹介
1. 金堅敏（富士通総研） 「米中・日韓経済紛争を超えて—東アジア新経済秩序の構築」 (アジア経済、AIIB の話は良かった。インドは一帯一路やらないとの説明)		アジアの多重性、日本は東南アジアではレベルが低下している。アジア経済どん底か足踏み。タイ国が足を引っ張る。一帯一路。日本のレビューなし。講演資料別途 PDF 有り
2. 林千野 (双日株式会社海外業務部中国デスクリーダー) 「日中経済協力の現状と展望—実務者の視点から—」 (第一線情報の話で大変良かった)		双日（株）は、ニチメンと日商岩井をルーツに持つ。実業界の第一線実務者の話として非常に良かった。昨年小松社長が北京で出版発表された当時、安部総理主導の 52 件の日中覚書(MOU)の内容は大雑把と断言。来春の習近平来日でレビューされる。講演資料別途 PDF 有り
16:25 第三部「日韓米関係の新展開とアジア安全保障の構築」 司会：額田厚（明治大学特任教授）		田岡俊次先生が、なかなか登壇されず司会者の解説が長くなったが分かりやすい説明で大変に良かった
田岡俊次（軍事ジャーナリスト） 「変動する日韓米中関係と日本の安全保障」 配布資料なし		韓国の仮想的は日本。日本のメディアは軍事に弱い。中国は軍事力を拡大→本当は縮小している。経済発展に併せて国防力を向上。
16:55 岡倉天心国際賞 司会 中川十郎(日本 BIS 会長)	 	小松社長の経歴・長年に亘る功績などをご紹介 同時にスライドを上映されて良かった。
岡倉天心国際賞 表彰状授与式 進藤栄一学会会長より 小松社長に表彰状授与		

岡倉天心国際賞講演 (小松社長)  小松社長挨拶の後で 写真スライド、動画上映	  	岡倉天心国際賞の受賞御礼と共に 小松社長の生立ち・プロセス・経過など を交えて、世界の平和・環境・健康寿命 の活動などをご紹介します。 そして、詳細はスライドと動画でご紹介 との説明から、上映を開始。 会場照明をすべて消灯されて真っ暗の 中での上映スタートは、スクリーン画面 に集中できて非常にインパクトがあり ました。
特別報告 司会 李 先生 (南京師範大学) (中川先生の予定が変更)		南京から駆けつけて来られたとのこと 若手研究者と言われていたが 51 才になった。 「友愛」の精神で、皆様の出会い、西原先生と の出会いを楽しみにしてきた。
17:25 特別報告 「日韓問題 解決から克服へ 日韓会 議から帰って」 西原春夫(元早稲田大学総長) 別紙に原稿あり		2022 年 2 月 22 日 22 時 22 分 22 秒で、 「東アジアを戦争の無い地域にする」 共同宣言を発表する活動と呼びかけ。 日本の長老、韓国の長老、10 月 21 日に 韓国で 22 人と懇談。
司会 李 先生 (南京師範大学)		国際アジア共同体学会 2019 春季大会の ことなども含めて、学会の活動状況につ いて紹介あり。
総括 進藤栄一(学会会長) 	本日は午前、午後に亘り学会の講演会に感謝。岡倉天心賞の受賞に敬意。 岡倉天心は『日本の目覚め』の第五章「白禍」で、「ヨーロッパの栄光はアジ アの 屈辱」とし、アジア的価値観の回復・復興のためのアジア連帯を激し くアピールしている。2008 年 2 月に有楽町で開催した第 1 回国際シンポジ ウム「東アジア共同体と岡倉天心 : 21 世紀アジアを展望する」有楽町朝 日ホールにて主催(国際交流基金助成)以来、岡倉天心の思想が流れている 今後とも学会の活動にご協力をお願いしたい。	
司会 李 先生 (南京師範大学) 東京学芸大学に留学経験あるとのこと。		最近まとめの書籍を紹介 書籍「アジア言語文化研究」(日本民間反戦記憶 に関する他分野研究) 出版の紹介あり。 小松社長に寄贈。佐野あずかり保管中。

18:10-20:00 懇親交流会 源来酒家

源来酒家 神保町店 - Retty

人気店 二つ星 ラーメン



ジャンル： 担々麺、中華料理、刺身、飲茶・点心、丼も...
予算： 昼～2,000円 夜～2,000円
住所： 東京都千代田区神田神保町3-3 - [地図](#)
アクセス： 東京メトロ半蔵門線/神保町駅 徒歩2分 (158m)
電話番号： 03-3263-0331
営業時間： 月～金 11:00～23:00 土、日 11:00～21:00
定休日： 無休



(株)時事通信社松江支局長 山口氏より、小松社長の岡倉天心国際賞受賞のお祝い電報メッセージ「夢・つなぐ」をご披露。また電報添付のお祝い品バラの花ブリザー輪を贈呈。



東アジア関係各分野でトップのお方により、経済・文化・軍事・政治など各方面の話題を熱く語り合い懇談。



バイオリン演奏：樋口由紀子様
(前半・中間・後半に演奏)
中川先生からご紹介あり。

李先生の司会により、結果的に出席者全員が一言ずつ自己紹介して挨拶。

国際アジア共同体学会2019秋季大会 変貌するアジア戦略展望ー新たな連結を ユーラシアに求めてー

2019年10月26日(土) 10:15 (開場10:00)

会場: 専修大学神田校舎・1号館 204教室

共催: 日本華人教授会議、アジア連合大学院機構、一帯一路日本研究センター
後援: 毎日新聞(交渉中)、日本中国友好協会

午前の部

開会挨拶: 黒瀬直宏(学会理事長)

自由論題報告 (10:20~11:30)

1. 鈴木賢一(政党事務局副部長)「韓国との政治対話のあり方について」10:20~11:50
2. 魏向虹(アジア連合大学院機構主任研究員)「ファーウェイのHarmony OS(鴻蒙)はAndroidを超えるかーファーウェイのスマートフォンビジネスの見通しー」10:50~11:10
3. 与那覇恵子(公立大学名桜大学非常勤講師) 11:10~11:30
「米軍初期占領下の沖縄1945-1953 何故必修の小学校英語教育は終焉したのか?」

理事会 (11:40~12:40) 203教室

総会 (13:00~13:10) 204教室 理事会報告 黒瀬直宏

最新のプログラムは
HPでご確認ください。

午後の部

岡倉天心最優秀・受賞記念講演 13:10~13:50

司会: 萩原伸次郎(横浜国立大学名誉教授)

近藤大介: 「ファーウェイと米中5G戦争」(講談社+α新書)著者

第一部「ユーラシア新経済秩序の構築」13:50~15:25

司会: 井川紀道(元世銀MIGA長官)

1. 萩原伸次郎(横浜国立大学名誉教授)「米中対立と国際経済」
2. 池部亮(専修大学商学部教授)「ベトナム・中国の物流環境とサプライチェーン」
3. 渋谷祐(中国研究所21世紀シルクロード研究会代表)「ユーラシアエネルギー連結協力の発展とリスク」
コービーブレイク

第二部「日中第3国協力の現実と展望」15:25~16:25

司会: 岩内秀徳(富山大学経済学部教授)

1. 金堅敏(富士通総研)「米中・日韓経済紛争を超えてー東アジア新経済秩序の構築」
2. 林千野(双日株式会社海外業務部中国デスクリーダー)「日中経済協力の現状と展望ー実務者の視点からー」

第三部「日韓米関係の新展開とアジア安全保障の構築」16:25~16:55

司会: 藤澤厚(明治大学特任教授)

田岡俊次(軍事ジャーナリスト)「変動する日韓米中関係と日本の安全保障」

岡倉天心国際賞講演 16:55~17:25

司会: 中川十郎(日本ビジネスインテリジェンス協会会長)

小松昭夫(小松電機産業株式会社代表取締役、(財)人間自然科学研究所理事長)

特別報告 17:25~17:45

司会: 中川十郎(日本ビジネスインテリジェンス協会会長)

西原春夫(元早稲田大学総長)「日韓問題、解決から克服へー日韓会議から帰ってー」

総括: 進藤榮一(学会会長) (17:45~17:55)

懇親交流会: 源来酒家 18:10~20:00 バイオリン演奏: 樋口由紀子

参加費
(資料代)

学会会員・関係機関 500円
一般参加者 1,000円

懇親会会場
「源来酒家」

千代田区神田神保町3-3
tel. 03-3263-0331 (会場から徒歩2分)
懇親会参加費: 3,500円程度

お申し込みメール

info@isac.asia

HP専用申込フォーム

http://www.isac.asia/press/isac20191026/

ISAC

【岡倉天心・国際賞の表彰式前に、会場で中川先生がお読みになられた、小松社長の紹介お祝い文】

令和元年 10 月 26 日

小松社長様

日本ビジネスインテリジェンス協会会長 中川十郎

本日は、小松昭夫社長のこれまでの長年にわたる企業経営と国内外での民間での世界平和構築活動に対し、岡倉天心・国際賞が送呈されることを学会一同を代表し、心からお祝い申し上げます。

小松社長は 1944 年に島根県で誕生され機械工業を専攻された後、小松電機産業を創設。社是「社業を通じて社会に喜びの輪を広げよう」、経営理念にユニークな「おもしろ、おかしく、たのしく、ゆかいに」を掲げられ、人間自然科学研究所を創設。地域社会の進展に尽力。小泉八雲の「OpenMind」の開かれた精神に影響を受け、「和の経営理念」を唱え「社業を通じて社会に喜びの輪を広げよう」を社是にして日々活躍しておられます。

ビジネス活動においてはベンチャービジネスの旗手として、「高速シートシャッター門番」クラウドを活用した「上下水道計測、制御、駆動システムやくも水神」などを発明され、「中小企業研究センター賞」「ニュービジネス大賞」「ものづくり日本大賞優秀賞」「科学技術庁・第 54 回注目発明選定省」「地域活性化貢献企業賞」など数々の賞を受賞されておられます。同社製品は今日、470 自治体 12000 施設に納入され、なかでもクラウド総合水管理システムは度重なる豪雨、水害に際し ICT を活用した遠隔操作などで活躍。今回の台風 15 号、19 号などへの対策でも効果を発揮しております。

小松社長は、日本、中国、南北朝鮮、ロシアなどとの世界平和構築活動にも民間企業経営者として長年邁進してこられました。また、中国孔子文化大学の客員教授も兼任され日中の文化、学术交流分野でも活躍しておられます。小松社長は、2002 年「論語」を日中英 3 カ国語で、2008 年には中日韓英 4 ケ国語で「中国古典名言録」を出版。さらに「一隅を守り千里を照らす 小松昭夫の企業経営」「経営実践手帳」は、東方出版社から中国語に翻訳され、注目されております。さらに「和の文化」を提唱され、孔子、孟子像を鳥取県の日本最大の中国庭園「燕趙園」に建立、日中の「和」の文化交流に尽力されておられます。

このような「対立から共生へ」の理念と活動が国際的に高く評価され、カーネギーの寄付により創設されたオランダ・ハーグの「平和宮」で、ヘンリー・フォード、ノーベル、ロックフェラー、テッド・ターナー、ビル・ゲイツ夫妻などと共に世界平和フィランソロフィー 20 人の一人に選定されたことは小松社長のこれまでの世界平和に対する貢献を世界的に立証するものです。

このような国内外における財界活動、平和活動を高く評価し、本年度の「岡倉天心国際賞」推薦人の一人として小松社長の授賞を心からお祝いし、今後とも同社長の国内外におけるビジネス活動と平和構築活動へのさらなるご活躍とご貢献を祈念いたす次第です。

(清書 小林 泰久 小松電機産業株式会社 東京支社 情報システム部)

2019 年 10 月 1 日

小松電機産業株式会社代表取締役
(財) 人間自然科学研究所理事長
小松昭夫様

国際アジア共同体学会理事長
黒瀬直宏

岡倉天心国際賞のご受賞について

本学会は、「アジアは一つ」を謳い、アジアの平和と共生を説いた、国際的な思想家、岡倉天心の思想と行動を受け継ぎ、時代を超え、世界に伝えるため、アジアの平和と共生に尽力された方の業績を称える岡倉天心賞を設けております。

小松昭夫様は革新的なビジネスを展開される一方、長年「戦後責任」のお考えの下、アジアの平和と共生のため国際的に目覚ましい活動をされてきました。折しも、本年は朝鮮三・一独立運動、中国五・四運動より 100 年、弾圧と侵略でもってこれに応えた日本の過去を深く振り返らねばなりません。本学会は小松昭夫様のご業績を今こそ広く社会に周知させねばならぬと考え、岡倉天心国際賞をお贈りしたく、ご承諾をお願い申し上げます。あわせて、10 月 26 日開催の国際アジア共同体学会秋季大会にての受賞講演もお願い申し上げます。

(秋季大会プログラムについては本学会ホームページ www.isac.asia をご覧ください)

賞状

岡倉天心国際賞

小松昭夫 殿

あなたは国際アジア共同体学会第七回岡倉天心
国際賞を受賞されました。

【主要受賞対象業績】

長年にわたるアジアの平和と共生のため国際活動

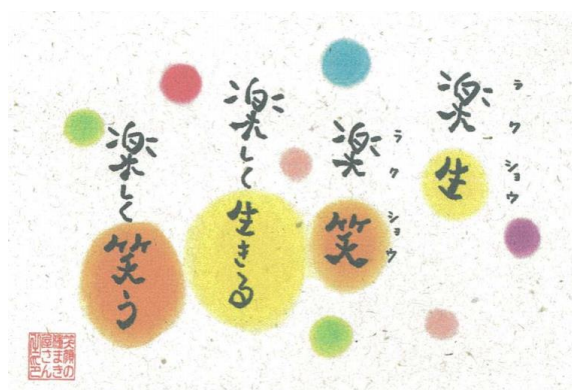
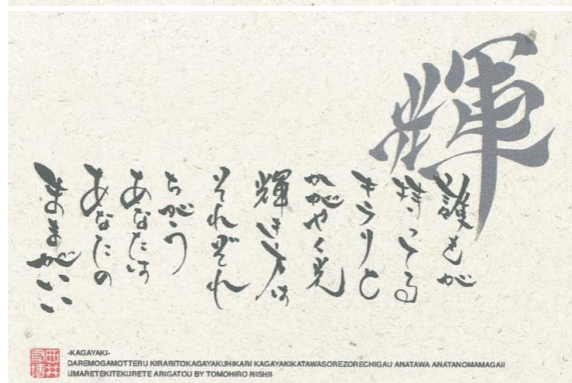
よってここにその栄誉を称え、これを賞します。

2019年10月26日

国際アジア共同体学会
会長 進藤 榮一



(株)時事通信社松江支局長 山口氏より、懇親交流会会場 小松社長宛に
小松社長の岡倉天心国際賞受賞のお祝い電報メッセージ「夢・つなぐ」と電報添付のお祝い品(バラの花)
ブリザー輪を贈呈受け。心ありがとうございます。



お祝い
お届け台帳名『夢・つなぐ』
お届け日 一〇月二六日午後
東京部 千代田区 神田神保町 三丁目三
源来酒家 (国際アジア共同体字会 2019秋季大会 懇親会会場)
小松電機産業株式会社 代表取締役
小松昭夫 様
岡倉天心国際賞のご受賞おめでとうございます。貴社の事業と国際
平和活動のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。
島根県松江市末次町23
株式会社時事通信社
松江支局長 山口 文洋 (やまぐら ふみひろ)
コード九二七〇三七二六五七 一〇月二一日 二六四三一九八八六



(総務 細田 梨咲子 様 から資料受け)

10月27日(日)

長野市 千曲川堤防決壊 水害地域状況の現地視察 小松社長、佐野

小松社長は、翌日(28日)千葉方面の水害被害状況を現地視察予定。

佐野 羽田空港より米子空港経由で帰松

「母なる中海」編集者の佐藤徹郎様より、岡倉天心国際賞受賞のお祝いお手紙

小松昭夫様

岡倉天心賞のご受賞、おめでとうございます。岡倉天心は日本の美術、伝統文化にこのほか造詣深く、東洋思想を学び、平和理念を真摯に追求した方でした。想像するに、この世界が、戦争への道に踏み込まれたための理念を構築し続けたご生涯だったでしょう。そう考えると、小松さんの本賞受賞は、長年にわたる思索と実践が岡倉天心の心に通じたものと拝察します。

昨春からの一年半、小松さんとの濃密なお付き合いのなかで、小松さんが発する「言葉」の数々に私は心打たれ、触発されました。ご紹介くださった御地在住の三人のキルト作家を取材しながら、キルトが育んできた感性豊かな文化性のなかに、「対立の文明から共生の文化へ」という小松理念が宿っていることに気づきました。

ポーランドへの旅で直視し、体感された「アウシュビッツ」、韓国への旅で何度目かの視察を実践された「西大門刑務所」は、「ヒロシマ」「ナガサキ」に連なる人類の歴史の哀しい現場にほかなりません。小松さんは時間をおかず、タイとフィリピン、そして中国、香港への旅を準備されました。こうして小松さんは、それぞれの歴史の現場を何度も何度も直視、かつ体感し、平和への意思を「自身の裡で再確認なさるのです。それが、「小松電機産業五〇年」と「人間自然科学研究所二五年」の一つの停車場なのでしょう。この旅は未来へと続きます。

御社創立以来、小松さんは企業経営者の道と社会思想活動家の道を兼業模様のとき強い、清冽な力で結びつけ、この両道を一本の大通りにしつらえて一意専心歩んでこられました。そう、まさに一意専心の、たゆまぬ歩みでした。創造的企業活動を一心に続けるなかで、社会活動の理念と実践をともに完遂されたことで、「一つの停車場」から二つ目、三つ目の停車場への路線が約束されます。「対立ではなく共生」に向かう路線であり、停車場です。

この路線を引くきっかけとなったのは、「水」研究と異業種交流。異文化交流の活動だったと私は思っています。「みんなちがって、みんないい」は、天逝の詩人・金子みすずの詩の一節です。「対立ではなく共生」の思想は、「みんなちがって、みんないい」の精神に真つ直ぐ繋がります。この意味で、異文化交流の発想こそ、共生の原点があることは明らかです。

御社が一貫して手がけてこられた「水」の文化は、異文化の共生をおのずから促しています。逆にいえば、異文化が共生する社会でなければ、水の文化が根づき、育つことはありません。「母なる中海」を守ろうとなさった小松さんのバックボーンには、「水こそが共生理念の原点である」という信念がありました。

地球の七〇％が水、そのうち九七％余が塩水つまり海水、真水はほんの三％弱とのこと。また、人の胎児は、その九〇％が水だそうす。「水神」は、これほどに貴重な水を扱っている。水の文化がどれほどに高価値であるかなにも増して貴重であるかがよくわかります。異文化を享受し、水文化を世界中で支えることが、すなわち「共生への道」にほかなりません。

「共生」へと向かう一本の道を、曼荼羅のごとき強さとふくよかさをもって築き続ける小松さんが、岡倉天心賞を受賞なさいました。お祝い申し上げます。佐藤徹郎

3. 小松社長の岡倉天心国際賞受賞記念講演会後のメール

【岡倉天心国際賞推薦人のお一人、

日本ビジネスインテリジェンス協会会長の中川十郎先生からのお祝いとお礼メール】

岡倉天心国際賞のご受賞について

本学会は、「アジアは一つ」を謳い、アジアの平和と共生を説いた、国際的な思想家、岡倉天心の思想と行動を受け継ぎ、現代と未来と世界に伝えるため、アジアの平和と共生に 尽力された方の業績を称える岡倉天心賞を設けております。 小松昭夫様は革新的なビジネスを展開される一方、長年「戦後責任」のお考えの下、アジアの平和と共生のため国際的に目覚ましい活動をされてきました。折しも、本年は朝鮮三・一独立運動、中国五・四運動より 100 年、弾圧と侵略でもってこれに応えた日本の過去を 深く振り返らねばなりません。本学会は小松昭夫様のご業績を今こそ広く社会に周知させねばならぬと考え、岡倉天心国際賞をお贈りしたく、ご承諾をお願い申し上げます。あわせて、10 月 26 日開催の国際アジア共同体学会秋季大会にての受賞講演もお願い申し上げます。（秋季大会プログラムについては本学会ホームページ www.isac.asia をご覧ください）

 返信  全員に返信  転送



2019/10/28 (月) 17:05

小松昭夫 <akio@komatsuelec.co.jp>

ありがとうございます

宛先 Juro Nakagawa

CC 細木由里子; y_kobayashi@komatsuelec.co.jp; sano-k@hi2.enjoy.ne.jp; hamana@komatsuelec.co.jp; 小松昭夫

中川 十郎 様

先日はありがとうございます。

またご丁寧にメールも頂き、感謝申し上げます。

偉人、岡倉天心ゆかりの荣誉ある賞を賜りましたことは、身に余る光栄です。

中川先生に私の略歴をご紹介して頂きましたことも感謝申し上げます。

お蔭様で懇親会でも皆様と交流を深める事ができました。

同行した人間自然科学研究所のメンバーや弊社の社員も大変勉強になったと申しておりました。

また懇親会の席では、国際アジア共同体学会の皆様の熱意を改めて感じました。

西原春夫先生の 2022 年 2 月 22 日 22 時 22 分 22 秒へ向けての活動のお話には驚きました。

偶然ではありますが 2 月 22 日は島根県民にとっては竹島の日でもあるからです。

今後の進め方につきまして、10 月 31 日のオペラ開演前にでも、

ご都合がよろしければ意見交換できればと考えておりますが、いかがでしょうか。

奥様にもよろしくお伝え下さい。

中川先生の益々のご健勝をご祈念申し上げます。

小松電機産業株式会社 人間自然科学研究所

代表 小松昭夫

佐野馨

小林泰久

浜菜みやこ

2019/10/27 13:28、Juro Nakagawa <jm-naka@mvb.biglobe.ne.jp>のメール:

小松電機産業 社長

人間自然科学研究所理事長

小松昭夫様

昨日は御多用にも関わらず国際アジア共同体学会秋期大会において

岡倉天心国際賞を受賞されたこと改めてお祝い申しあげます。

これまでの長年に渡る地道な世界平和構築へのご努力、さらに

新技術による社会の発展へのご貢献が認められたことを

同賞推薦人の一人として喜びに耐えません。

ご講演も動画を活用した、わかりやすく素晴らしいもので、参加者一同、強い感銘を受けておりました。

本賞授賞を機に、今後とも国内外において、新技術によるビジネスの拡大と

世界平和構築にさらに御活躍されますことを祈念申し上げます。

以上取り急ぎ御礼申し上げます。

中川 十郎 Prof. Juro Nakagawa

名古屋市立大学 22 世紀研究所 特任教授

国際アジア共同体学会 学術顧問

日本ビジネスインテリジェンス協会 理事長
東京経済大学経営学部・大学院 前教授
愛知学院大学商学部 元教授
E-mail: jm-naka@mvb.biglobe.ne.jp

【進藤榮一先生とのメール】



2019/10/29 (火) 8:26

進藤 榮一 <eshindo11@yahoo.co.jp>

Re: 恐縮に存じます ご来駕御礼 御受賞改めて私どもにとり栄誉 進藤

宛先 浜菜みやこ

CC 小松昭夫; 佐野様; 小林泰久; 細木由里子; niwa@isac.asia; 中川 十郎; 黒瀬 直宏

小松昭夫社長

先日は、松江からご来駕賜りましたこと、心より改めて深謝申し上げます。

かえって恐縮に存じます。先週末ソウルフォーラム、明日大阪講演、来週北京出張と、立て続けに雑事が入り、御礼の言葉をお返しするのが遅くなりました。

国際的なご活躍、もっと世に広めて、日本産業人に「平和の事業化」の思想と実践の、貴重なご貢献を知らしめるべく、志を新たにした次第です。

事務局体制が変わり、十分な受け入れ態勢がかなわず、せっかくの記念事業が広く会員諸兄姉にお伝えできなかったこと、残念に思っております。ご海容下さいますよう。しかし社長の御講演、参加者一同に強い感動を与えておりました。懇親会の席上のご交流も改めて深謝申し上げます。

遅くなりますが、拙著、帰国後お送りさせていただきます。

取り急ぎ。

進藤拝



2019/10/29 (火) 0:21

浜菜みやこ <hamana@komatsuelec.co.jp>

「岡倉天心国際賞」感謝申し上げます。

宛先 eshindo11@yahoo.co.jp

CC 小松昭夫; 佐野様; 小林泰久; 細木由里子

進藤榮一先生

この度は国際アジア共同体学会 2019 にお招きいただき、ありがとうございます。

偉人、岡倉天心にゆかりのある賞を賜りましたことは、身に余る光栄です。

先生方の講演を拝聴させて頂き、同行した人間自然科学研究所のメンバーや弊社の社員も大変勉強になったと申しておりました。

西原春夫先生の 2022 年 2 月 22 日 22 時 22 分 22 秒へ向けての活動のお話には驚きました。

偶然ではありますが 2 月 22 日は島根県民にとっては竹島の日でもあるからです。
懇親会では、進藤先生とゆっくりお話もでき、楽しいひと時を過ごさせて頂き感謝申し上げます。
国際アジア共同体学会の皆様の熱意も改めて感じました。
進藤先生の益々のご健勝をご祈念申し上げます。
皆様にもよろしくお伝え下さい。

小松電機産業株式会社 人間自然科学研究所

代表 小松昭夫 佐野馨 小林泰久 浜菜みやこ

【黒瀬 直宏 先生とのメール】



2019/10/29 (火) 9:52

KUROSE naohiro <n-kurose@t3.rim.or.jp>

Re: 「岡倉天心国際賞」感謝申し上げます。

宛先 浜菜みやこ

CC 小松昭夫; 佐野様; 小林泰久; 細木由里子

浜菜みやこ様 小松昭夫先生はじめ皆様にご来駕いただき、こちらこそ光栄でした。西原先生のお話しからも感じましたが、まだまだ日本の良心は消えたわけではないと確信しました。
現在、中国・温州市で中小企業の訪問調査をしています。日本の中小企業に対する期待は強いものがあります。温州大学で予定されている地元中小企業支援の事業をバックアップすることも考えております。
私としては、アジアの中小企業間の絆を強めることにより、アジアの平和に貢献したいと思っております。今後も種々ご教示願いたいこともございます。よろしくお願い申し上げます。 黒瀬直宏



2019/10/29 (火) 0:28

浜菜みやこ <hamana@komatsuelec.co.jp>

「岡倉天心国際賞」感謝申し上げます。

宛先 n-kurose@t3.rim.or.jp

CC 小松昭夫; 佐野様; 小林泰久; 細木由里子

黒瀬 直宏 先生

この度は国際アジア共同体学会 2019 にお招きいただき、ありがとうございます。
偉人、岡倉天心にゆかりのある賞を賜りましたことは、身に余る光栄です。
先生方の講演を拝聴させて頂き、同行した人間自然科学研究所のメンバーや弊社の社員も大変勉強になったと申しておりました。
西原春夫先生の 2022 年 2 月 22 日 22 時 22 分 22 秒へ向けての活動のお話には驚きました。
偶然ではありますが 2 月 22 日は島根県民にとっては竹島の日でもあるからです。
懇親会では、楽しいひと時を過ごさせて頂き感謝申し上げます。
国際アジア共同体学会の皆様の熱意も改めて感じました。
黒瀬先生の益々のご健勝をご祈念申し上げます。
皆様にもよろしくお伝え下さい。
小松電機産業株式会社 人間自然科学研究所

代表 小松昭夫 佐野馨 小林泰久 浜菜みやこ

【時事通信社 松江支局長 山口 文洋 とのメール】



2019/10/29 (火) 19:08

山口 文洋 <yamaguchi@jiji.co.jp>

Re: 御礼 本日はありがとうございました。

宛先 sano-k@hi2.enjoy.ne.jp

CC 小松昭夫; 浜菜みやこ; 細木由里子; 細田梨咲子; 魏亜玲; yasuhisa kobayashi; 佐藤京子

人間自然科学研究所 佐野 馨 様

CC 小松 昭夫 様、各位

お世話になっております。時事通信・松江支局 山口です。

本日は小社までご足労いただき、誠にありがとうございました。

ご送付いただきました会議報告で、懇親交流会の和やかなご様子も拝見いたしました。ご盛況で何よりでございました。韓慶愈氏の記事もあり
ありがとうございます。拝読させていただきます。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

時事通信社 松江支局（内外情勢調査会、中央調査社）

支局長 山口 文洋

690-0846 島根県松江市末次町 23

TEL 0852-21-3594

FAX 0852-21-3597 取材用 FAX 0852-21-3110

携帯 090-8506-0646

HP <https://www.jiji.com/>

On 2019/10/29 14:50, sano-k@hi2.enjoy.ne.jp wrote:

株式会社 時事通信社 松江支局長 山口文洋 様

大変お世話になります。

本日は 小松社長に同行して 訪問させていただきましてありがとうございました。

先般の 岡倉天心国際賞の受賞に際しましては 支局長様から 心暖まるお祝いの電報を賜わりまして
ありがとうございました。懇親交流会の冒頭で 司会の女性(南京師範大学の先生、東京学芸大学に留学
経験あり)の方からのご紹介ご披露で お祝い電報が披露され また バラの花も贈呈式が行われ 万雷
の拍手を賜わりました。大変にありがたく感謝を申し上げます。

小松社長から 当日の会議報告を 支局長様にお送りするようと言われましたので 粗稿段階ですが
お送りさせていただきますのでよろしくお願い致します。

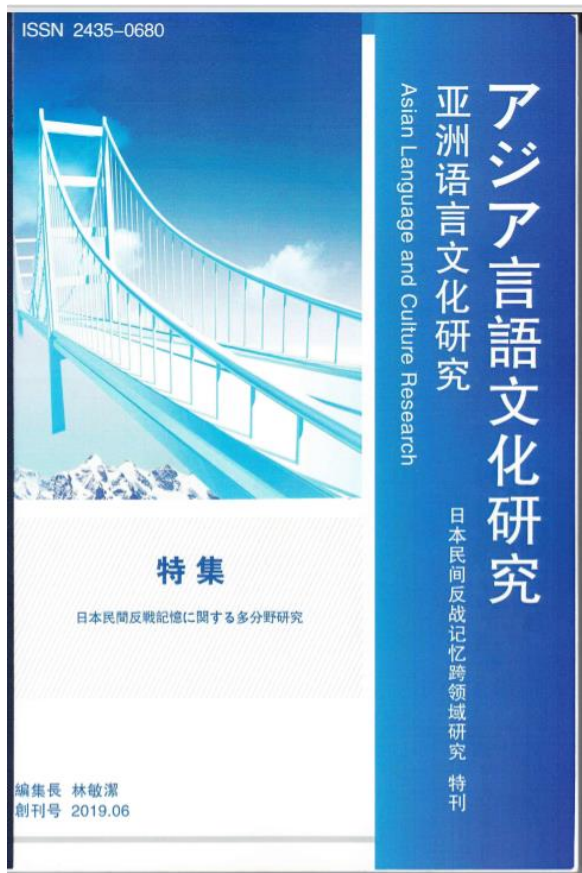
また 小松社長から ご紹介ありました 愛国華僑の韓慶愈氏についての 記事もお送りするようにと
言われていますので お送りさせていただきます。お時間のあるときに お目通しを頂ければ 幸いに
存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

このたびは 大変にありがとうございました。

一般財団法人 人間自然科学研究所(小松電機産業株式会社関連)

知的財産管理支援担当 佐野 馨

【小松社長が、南京師範大学 李 先生から贈呈を受けられた書籍 抜粋】



目次

巻頭言

『アジア言語文化研究』創刊の言葉…………… (3)

論稿

近代日本高校教師反戦史回顧……………林敏潔 (5)

反戦としての「対抗教育」……………溝井真人 (22)

日本無産政党的反戦と平和活動

——基于对“对华非干涉同盟”运动的考察……………姜藤龙 (49)

近代日本无产阶级文艺运动与反戦……………李 杨 (60)

十五年战争时期日本媒体反戦报道研究

——以《朝日新闻》为中心……………匡 伶 (76)

婦選運動家市川房枝と平和の希求 ——「15 年戦争」にどう抗い、

戦後の平和をどう護ろうとしたか……………進藤久美子 (88)

日本文学戦争記憶の矛盾性

——论战后日本文学的战争认识……………刘炳范 (99)

浅析日本近代反戦文学の源流……………何建军 (108)

论大江健三郎的反戦文学创作主题……………叶 琳 (117)

论日本国民歌手美空云雀的反戦意识……………季爱琴 郑季文 (126)

反戦と平和詩人栗原貞子研究……………钱爱琴 (139)

宮本百合子反戦意识探究……………许蓓蓓 (148)

意识形态视域下《野火》の战争観解读……………谷俊仪 (156)

战争・创伤・救贖——目取真俊笔下的冲绳小说评解……………丁跃斌 (166)

从《两人的墓碑》看林京子的战争批判……………汤 成 (175)

浅析《天黑以后》中村上春树的反戦意识……………赫莎莎 (182)

反戦文学の傑作

——壺井栄の『二十四の瞳』をめぐって……………李先瑞 (190)

野上弥生子の反戦意識 (1937～1938) ……楊慧穎 (198)

『黒い雨』から見る井伏鱒二の「場所の感覚」……………于 潔 (215)

遠藤周作文学における戦争認識

——『海と毒薬』を中心に……………張雨涵 (228)

日本民間反戦記憶研究

——基于 21 世纪日本影视作品分析……………陈书 等 (241)

战犯的“罪”与“悔”

——《我想成为贝壳》中的反戦意识……………宋欣桐 (258)

《甘蔗田之歌》中的冲绳战争记忆建构与诗意叙事……………马 可 (270)

后藤明生の战争记忆与“间性空间”……………沈 俊 (280)

漫画家水木茂的反戦意识……………張瑞妍 (289)

日本高中生战争认知调查研究 (一) ……黄 博 (302)

回想録

侵华老兵元山俊美自我救贖的一生

——日本民間反戦记忆之一……………元山里子 (319)

回顧録「私は幸せ者だった」……………米山 惇 (336)

「人間の責任に関する世界宣言」の背景と思考……………瀧美桂子 (353)

投稿規程・執筆要領…………… (366)

編集後記…………… (368)

『アジア言語文化研究』創刊の言葉

アジア諸国の相互交流が日毎に活性化するとともに、アジア地域は次第に融合し文化的集合体の形成過程を迎えております。これによりアジア言語文化研究もまた、国家と民族を越えて、アジアを一つの集合的文化として、その内部における文化の生成・伝播・交流・変遷など各種の現象に注目する必要があります。『アジア言語文化研究』はまさにこのような状況に鑑みて創刊に至りまして、その主旨は開放的にして包容性に富み、自由平等の超越的言語文化交流のプラットフォームを創出し、アジア言語文化をめぐる学術研究を深化させ隆盛へと導き、アジア地域の相互学術交流を促進することにあるのです。

本誌は言語・文学研究、文化・歴史研究、地域・各国別研究、映画・ドラマ作品研究、インタビューと回想録などを収録し、言語学・文学・翻訳学・超域文化学および国際問題研究における新たな動向、新たな成果を学術界に伝え、科学的にして学術的、社会的でもあることを目指す決意です。さらに本誌は不定期ながら国内外で学術的シンポジウムを開催し、アジア地域の人文学交流に貢献したいと願っております。

反戦平和運動のために尽力した人々を記念するため、本創刊号は「反戦・平和研究特集」として刊行いたします。本誌はインタビューと回想録を特別欄として常設しまして、学術的視点から人々の平和に対する関心と見守りの意識を喚起し、学術的成果による社会的効用の強化も、私たちが負うべき責任と考えております。

本誌の創刊は、広く散知を結集し、諸家の卓説を発揚することを目的としております。私どもは研究者各位のご登壇とご指正を歓迎いたします。それと同時に、次世代研究者が新鮮で活力ある視点をご披露して、アジア言語文化研究に新たな力を注いで下さることも大いに期待しております。

GAIA機構

一般社団法人

アジア連合大学院機構

Global Asia Institute of Research Alliance (GAIA) Foundation

一帯一路日本研究センター

Belt and Road Initiative Japan Research Center (BRIJC)

BRIJC

一帯一路日本研究センター

一般社団法人アジア連合大学院機構

<http://gaia2020.org>

一帯一路日本研究センター

<http://brijapan.org>

このたびは「岡倉天心国際賞」受賞記念講演に同行させて頂き、ありがとうございました。

この様な貴重な機会を頂いたことに、小松社長はじめ関係者の皆様へ感謝申し上げます。

小松社長は、革新的なビジネスを展開しながら、長年「戦後責任」の考えの下、アジアの平和と共生のため、国際的に目覚ましい活動を行ってきました。そのことが評価されて、アジアの平和と共生に尽力された方の業績を称える「岡倉天心国際賞」を初代として受賞されました。

岡倉天心は、東京藝術大学の創設に深く関わり、芸術、文化活動だけでなく、さまざまな社会事業や平和への念も強く、横山大観など多くの人に影響を与えた人物です。この度の岡倉天心国際賞受賞をはじめ、世界の平和事業家（フィランソロピスト）20人に選ばれ、ノーベル平和賞を受賞した最初の女性のベルタ・フォン・ブットナーの像を作成することに尽力されるなど、対立の文明から共生の文化へ、平和に関する様々な活動を実行してきた小松社長に心から尊敬の念を抱きます。

今回、午前の部、午後の部と6時間以上に渡り、日中関係や日韓関係、ファウウェイの最新技術などそれぞれ専門分野で先生方の講演も行われ、大変勉強になりました。

元早稲田大学総長の西原春夫先生の「2022年2月22日22時22分22秒」に平和について想いを馳せながら何かやろう！という呼びかけがありました。

2月22日は竹島の日でもあります。「光の柱プロジェクト」に繋がる何かを感じる瞬間でもありました。

小松社長の受賞記念講演では、人間自然科学研究所の活動や小松社長の理念がよくわかる動画も上映され、講演後は大きな拍手と共に、深い感動で会場が一体感に包まれているのを感じ、同行させて頂いた私も胸が熱くなりました。

懇親会も参加させて頂き、国際アジア共同体学会の皆様の念に触れる有意義なひと時となりました。今回の「岡倉天心国際賞」に関して、私が担当するラジオ番組「おはようサンデー」でも取り上げさせて頂きました。平和に対する熱い念を持って行動されている方々がいらっしゃることが、一人でも多くの人に伝わることを願っています。

この度は貴重な機会をありがとうございました。

【所感】小林泰久

この度は小松社長に随行させていただき国際アジア共同体学会 2019 秋季大会に参加させていただき、小松社長の岡倉天心国際賞受賞と講演の機会に同席させていただき有難うございました。

開催までの事前準備を細木さんが窓口となり中川十郎先生と詰めていただいていたことで社長の講演と動画をご覧いただくまでスムーズに運ぶことができ有難うございました。

各界で活躍される先生方の講演を聞かせていただき、日本から中国や韓国などの海外を見るのではなく、海外（アジア）から日本を見て、これから何をすべきかを教えていただく講演が多くあり物事の捉え方など学ぶ貴重な機会となりました。

岡倉天心国際賞を小松社長が受賞され、講演を短くし出雲から陽が昇ると韓国のインタビュー映像を見ていただくことで、参加された方々から懇親会の席でも素晴らしいとお話をいただきました。

当初、映像を見た後に小松社長の講演をする予定でしたが、受賞式を行った流れから小松社長の講演をして映像を見ていただく流れに変更になりましたが、結果的に社長の話の後に動画を流したことで伝わりやすくなったと感じました。

翌週の龍谷大学と翌々週の東大の講演も同様の流れで講演をすることで多くの方々に構想が伝わると感じました。

【所感】佐野馨

このたびは、小松社長の岡倉天心国際賞受賞記念講演会に併せての国際アジア共同体学会 2019 秋季大会 変貌するアジア戦略展望－新たな連結を ユーラシアに求めて－に参加させていただきましてありがとうございました。また、翌日、10月27日には、長野市 千曲川堤防決壊 水害地域状況の現地視察に同行させていただきまして重ねて感謝を申し上げます。国際アジア共同体学会 2019 秋季大会での講演聴講をさせていただき、東アジアの現状、世界を視野にしての展開について過去・現在・将来への認識を新たにさせていただく中で、今回の台風 19 号被害の現状を、小諸なる古城のほとり雲白く遊子(ゆうし)悲しむ緑なすはこべは萌えず・・・などと、千曲川旅情の歌程度の知識しかなかった小生には、現地のタクシー運転手さんの案内から千曲川流域は暴れ川洪水による長年の洪水に苦しめられた地域でもあるが、洪水がもたらす肥沃な土地の獲得を目指しての戦乱の舞台にもなっていた。という説明をお聞きし、小松社長から教えられます歴史の再認識が必要だと改めて感じました。この所感の後で、千曲川の視察報告

を至急取りまとめたいと思います。今回の、専修大学における、国際アジア共同体学会 2019 秋季大会への参加は、日本、アメリカ、韓国、中国を取り巻く情勢が、産・官・学のそれぞれの分野を代表される講師の方々からのお話をリアルに伺い、一帯一路のことを日本政府は中国とはいわずに第三国と呼んでいるなどの経過や香港・深圳の話、中国とアメリカの関係など奥深い話が次から次へと披露されて、講演資料もすべて **PDF** で配布されて大変に勉強になりました。

写真データは社内共有、講演内容もすべて録音させていただき社内共有にしております。今回の講演会内容を更に吟味して今後の研究所活動に活かしていきたいと思います。小松社長の受賞式、記念講演に同席させていただきまして光栄に存じます。大変におめでとうございます。